

子育て世帯への臨時特別給付金10万円問題

令和3年第4回三鷹市議会定例会において、10億余の子育て世帯への臨時特別給付金などをはじめとする補正予算（第11号）が提出されました。

今回の子ども世帯への臨時特別給付金事業は、一人あたり10万円の半額にあたる5万円を早急に現金給付する内容です。私は、本来10万円全額を現金で一括給付すべきと考えますが、12月中での早期支給を優先して、このたびの5万円の現金給付案に賛成しました。しかし、残り5万円もクーポンでなく現金で給付することを市長に要求しています。

残り5万円のクーポン給付は、報道等にもありますように、日本全体で900億円を超える巨額な経費が掛かることになり、まったくの無駄遣いです。また、三鷹市としても、市職員の業務量が大幅に増えることが危惧されます。子育て世帯にとってもクーポンのため買える店舗が限られることが想定されることから、使い勝手が良いものとなるでしょう。

国民、市民の声を適切に反映した満足度の高い政策づくりがなによりも重要です。誰も喜ばないであろうクーポン給付に、官邸はなぜこれほどまで拘るのか、とても残念です。

なお、立憲民主党の泉健太代表は、本件につ

いて岸田首相に代表質問をしました。その首相答弁は、「クーポン給付を原則として検討していただきたいと考えているが、**地方自治体の実情**に依じて現金での対応も可能とする」と、「**地方自治体の実情**」という理解に苦しむ答弁をされています。この内容では、どこの地方自治体も残り5万円の現金給付には踏み込めないでしょう。



三鷹市議会の政務活動費について

国会議員に支給される**月額**100万円の「文書通信交通滞在費（文通費）」が国会で議論されていますが、三鷹市議会議員の同様な費用はどのようなものなのかをお伝えしたいと思います。市議会議員に支払われている同様な費用は、「政務活動費」となります。三鷹市の場合、この「政務活動費」は、一人当たり**年額**297,000円までが認められています。国会議員とは金額にして大きな差がありますね。



おばた和仁事務所

三鷹市上連雀 6-4-1 ウェーブビル 1階

おばた和仁連絡先 Tel.080-3046-0741

- PROFILE
- 三鷹市議会議員1期目、三鷹まち活塾（3期生）修了
東大まちづくり大学院修士課程に在籍
 - 三鷹生まれ三鷹育ち、三鷹幼稚園、南浦小学校、三鷹一中（バスケット部）、都立国立高校（バスケット部）、横浜国大経済学部（ダンス部）
 - 元東京海上日動火災社員、元ジャスダック上場企業執行役員
 - まちづくり環境委員会委員、駅前再開発・市庁舎検討特別委員会副委員長、消防委員会委員、三鷹国際交流協会評議員など
 - 趣味 水泳（毎日1000m）、ドラム演奏、社交ダンス

また、この活動費は、議員個人の口座ではなく、会派の口座に振り込まれ、議員相互で監視する仕組みがとられています。収支報告や領収書等の提出も会派ごとに求められ市民の皆さまに公表しています。そして、1年後に収支差額がある場合は、その全額を市に返却していません。

この政務活動費は、使途が厳しく限定されておりまして、その意味でも国会議員の“文通費”とは異なります。使途は、研究研修費、調査旅費、資料作成費、資料購入費、広報費、広聴費、事務費でなければなりません。いわゆる交際費等には使えないのです。私の会派（三鷹民主緑

風会）の場合、会派として作成する年1回の市議会報告（会派レポート）作成、先進的な全国の市の事業を視察する訪問交通費（通常年1回実施）、会派室で利用するコピー紙購入等に活用されています。したがって、議員個人で作成するレポート作成諸費用や個人で参加する研修費・交通費等は、自費となるのが実情です。

なお、2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、多額の財政需要が見込まれることから、三鷹市議会9会派のうち私たちの会派を含む7会派が政務活動費を全額返上しました。また、2021年度は、一人あたり年額180,000円に減額することを申し出ました。

天文台百年の森を次世代になく新たな地域づくり

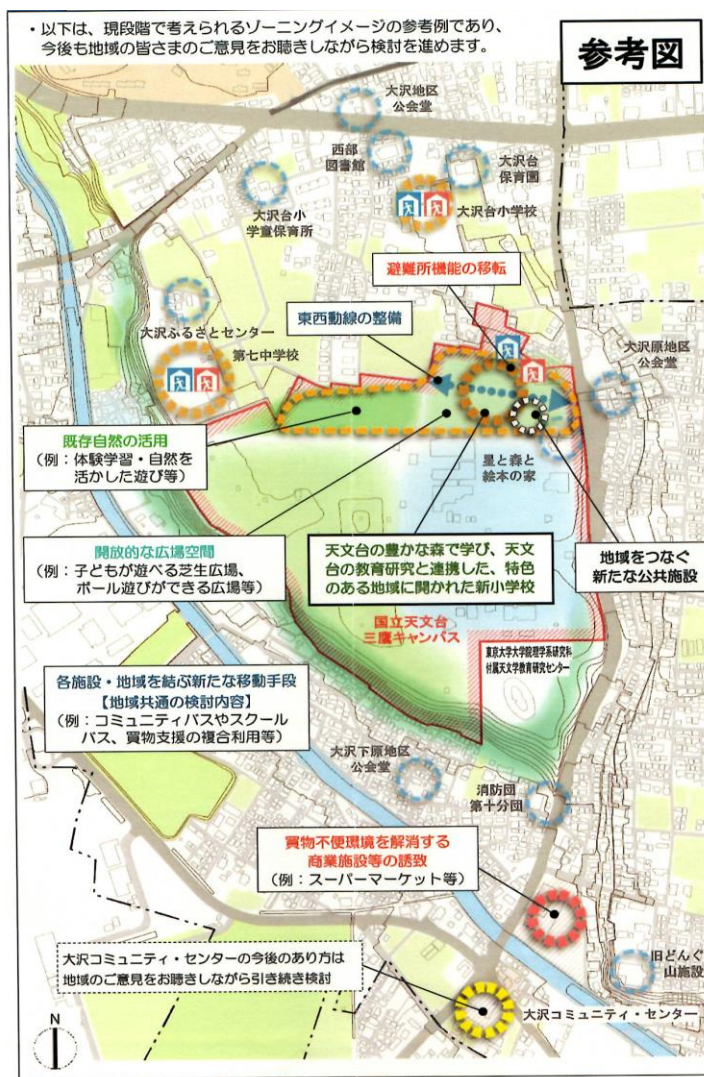
国立天文台北側敷地を中心に、新たなまちづくりが始まろうとしています。まちづくりの3本柱は、1. 質の高い防災・減災のまちづくり、2. 学校を核としたスクール・コミュニティの創造、3. 日常生活圏を基盤とした商職住近接のまちづくりですが、大沢地域の課題解決に向けた取り組みになることが期待されます。

■ 浸水予想区域内に位置する「羽沢小学校」については、子どもたちの通学、学校生活時の安全安心を最優先と考え、天文台北側敷地への移転に向けて検討します。

■ 通学距離が遠くなる子どもたちの負担軽減策として、スクールバスの運行等についても検討します。

■ 仮に、「羽沢小学校」が将来的に移転した場合の跡地利用の検討においては、大沢地域に不足するスーパーマーケットなどの商業施設等の誘致に取り組み、買物不便環境の解消を目指します。（私が一般質問等で主張してきたスーパーマーケットの誘致がこのたび検討案に記載されています。良かったです！）

■ なお、浸水予想区域内に立地する大沢コミュニティ・センターや今後更新期を迎える大沢台小学校等の公共施設のあり方については、地域の皆さまのご意見をお聴きしながら検討するとしています。



※この内容は現段階での検討案であり、今後の変更を前提としております。